

立命館 言語文化研究

19巻1号

目次

特集1

連続講座「国民国家と多文化社会」第17シリーズ

グローバリゼーションと植民地主

はじめに……………中川成美（3）

第1回 いまなぜ植民地主義が問われるのか

いまなぜ植民地主義が問われるのか

—植民地主義論を深めるために—……………西川長夫（5）

帝国日本と国内植民地

—「内国植民地論争」の遺産—……………今西 一（17）

フランスにみる「植民地忘却」

—『<新>植民地主義論』を手がかりに—……………平野千果子（29）

ケ・ブランリ美術館

—「平等」か、「過去の忘却」か—……………中本真生子（37）

第2回 国内植民地をめぐって

北千島アイヌの改宗政策について

—色丹島におけるアイヌの改宗政策と北千島への帰還問題を中心に—……………麓 慎一（43）

忘れられた<植民地>

—帝国日本と小笠原諸島—……………石原 俊（57）

コメント……………山下英愛（75）

アメリカ先住民居留地の「内国植民地」化政策

—フィリピン植民地政策との連続性に注目して—……………宮下敬志（77）

『紀州・白浜温泉という国内植民地の再生産』……………倉田昌紀（85）

第3回 グローバル・シティの問題

国際大都市を目指す上海の発展と直面する挑戦……………王 貽志（93）

グローバル化における上海の文化発展に関する問題および対策……………郭 潔敏（103）

グローバル・シティと植民地都市

—大連市の事例から—……………佐藤 量（111）

都市編成と「植民地なき植民地主義」……………加藤政洋（117）

第4回 反植民地 - 反グローバル化運動

<新>植民地主義とマルチチュードのプロジェクト

—グローバル・コモン共創に向けて—……………水嶋一憲（131）

資本制批判としての植民地主義批判……………崎山政毅（149）

第5回 戦後と植民地後 ―戦後日本をどう考えるか―

『GO』を解説する

- ―故国喪失者への困難な道―……………林 淑 美 (159)
- 敗北の「抱きしめ」方
- ―ドイツと日本―……………高橋秀寿 (175)
- いま戦後を論じるということ……………花森重行 (191)
- 戦後と解放後、植民地主義の遺制とその語りを考える……………朴 美貞 (199)

特集2

植民地主義研究会 研究報告

「グローバリゼーションと植民地主義」

国際シンポジウム「グローバリゼーションと植民地主義」

- 記録の日本語版刊行によせて……………高橋秀寿 (207)
- 感受性の透視術……………尹 相仁／朴 美貞 (訳) (209)
- 〈新〉植民地主義について……………西川長夫 (213)
- 民族主義は〈新〉植民地主義の対案なのか?……………林 志弦／朴 美貞 (訳) (229)
- 日本帝国の国民統合と植民地朝鮮……………尹 海東／朴 美貞 (訳) (233)
- 近代日本と国内植民地
- ―北海道の事例を中心に―……………今西 一 (237)
- 「植民地忘却」と「ホロコースト忘却」……………高橋秀寿 (243)

個別論文

- 認知判断傾向 (LoC) および学習動機と成績との関係について……………保坂芳男 (251)
- 「支那趣味」から「大東亜共栄」構想へ
- ―佐藤春夫の中国観―……………武 継平 (259)
- Looking Back at the Projector
- ―Reflection on Designing and Running a TEFL Film-studies Course……………Richard DONOVAN (271)
- The Role of Inferential Ability in Listening Comprehension in English
- as a Foreign Language……………上田眞理砂 (287)
- 罪とゆるし
- ―「カラマゾフの兄弟」を読む― (後編)……………井田俊隆 (303)
- 経済学部における必修英語科目の補習教育の試み
- ……………出水孝典／祐伯敦史／神谷佳郎／清水裕子 (319)